

 評価のポイント

CL- I .専門的、倫理的、法的な実践能力

[1-1] 臨床における子どもの権利を尊重した関わり

① 倫理原則 6 つを挙げてみましょう

1. 正解 = 自律 善行 無害 正義 誠実 忠誠

② 日頃、自分自身が、〈子どもの権利〉や〈倫理原則〉を意識できていると思える場面や行動を挙げてみましょう

無意識に行っているであろう、〈子どもの権利を尊重したケア〉を、当たり前ではなく、自身の意識に上らせて意図的な看護実践に繋がっていることが評価できる。

③ 自分自身が経験したことで、〈子どもの権利〉や、〈倫理原則〉に関する、モヤモヤする場面、状況を挙げてみましょう。また、それが、どのような権利や倫理原則に抵触するかも述べましょう

経験したモヤモヤの場面は、どのような子どもの権利が脅かされているのかを考えられているか（子どもの最善の利益、子どもの意見表明権、教育や、休息・余暇、遊び、文化的・芸術的生活への参加の権利など）、また、倫理原則がどのように遵守できていなかったかを述べられていることが重要である。